

# プレーパーク講演会及び体験会の報告について

## 1 プレーパーク講演会

- (1) 日 時 平成 26 年 11 月 22 日 (土) 午前 11 時 15 分～正午
- (2) 講 師 特定非営利活動法人 新青樹 理事長 竹内より子氏
- (3) テーマ 『冒険遊び場“プレーパーク”の重要性  
～子どもの生きる力を養うために～』

### (4) 内 容

子どもの経験として、たくさんの選択肢から選び、実践し、自らの行動に責任を持つことが必要である。異年齢の子どもと遊ぶことにより、できる子どもが教え、できない子どもは教えを乞うようになる。そうして、子どもが『根拠のない自信』を持つことで、どんな人の中にも自己肯定できる人間に成長する。ゲームで勝った、いい学校を卒業したなどの『根拠のある自信』は、人に優越感と劣等感を植え付ける。大人になった時に、自分の支えになるものは子どもの頃の自分である。プレーパークでの遊びは将来子どもの支えとなる。

- (5) 参加者数 15 人

## 2 プレーパーク体験会

- (1) 日 時 平成 26 年 11 月 23 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時
- (2) 講 師 特定非営利活動法人 新青樹 プレーリーダー 5 人
- (3) 内 容 ブランコ、一本ブランコ、竹のすべり台、ハンモック  
工作、焼き芋、竹馬、ベイゴマ他、子どもによる創作遊び
- (4) 参加者数 110 名 (1 歳～14 歳)
- (5) 担当者の感想

受付の際、何をしたらいいのかを聞くお子さんに対して、「好きなことをして遊んでいいよ」と返事をした時の、お子さんの嬉しそうな顔が印象的でした。今回は親御さんの同伴をお願いしたため、親子で一緒に遊ぶ姿を多く見かけましたが、なかには子どもさん同士で遊ばせ、自分たちは工作に夢中になっているご両親や、お母さん達だけでコマ遊びに夢中になっている方々もいらっしゃいました。

子どもが好きなように工作し、怖がりながらもすべり台で遊び、慣れてきてだんだん夢中に遊ぶ光景は非常にいい光景でした。何をしたらいいかわからない子どもは、自分より大きい子や大人のやっていることに興味を持ち、真似をしながら遊ぶので、遊びのお手本となるプレーリーダーの役目は非常に大きいと感じました。